

## 庭野平和財団 平成21年度活動助成 報告書

申請団体名：特定非営利活動法人国際協力 NGO センター（JANIC）  
申請事業の名称：世界の貧困問題に関する啓発活動  
事業の期間：平成21年8月1日～平成22年8月1日  
助成金：73万円

### 1. 活動の趣旨と目的

ミレニアム開発目標（MDGs）は、開発途上国の貧困問題の解決のために、国連機関及び各国政府等諸機関が共通の目標として掲げたものだ。2000年の国連ミレニアム宣言を受け、8つの目標にまとめられており、達成期限と指標が設けられた画期的な目標である。2010年はMDGs達成期限の2015年まで残すところあと5年しかない。しかし、先進諸国の熱意の欠如ゆえに、MDGsが達成されないという声が挙ってきている。その中でも特に日本社会ではMDGsの認知が進んでおらず、未だにMDGs達成の機運が低いままである。日本では国連や政府機関、NGOなどがMDGs達成に向けて活動しているものの、横の連携が十分にできていない。また世界の貧困問題解決のための活動はしていても、MDGs達成を意識化しないで活動している団体も多い。

そのため、JANICでは貴財団の支援を受け、世界の「貧しい」を半分に、MDGs2015キャンペーンを企画するに至った。キャンペーンの概要は以下のとおりである。

#### <キャンペーンの概要>

実施期間：2010年4月～2012年3月の2年間

（但し2015年までの継続を検討。また、後援名義申請は、年度ごとに行う）

目的：貧困のない世界を目指して、ミレニアム開発目標（MDGs）の意義を幅広く社会に知らせるとともに、その目標達成のために行動する人を増やすこと。

主催：（特活）国際協力 NGO センター

参加 NGO：42 団体（別紙参照）

後援団体・協力団体・協賛企業・助成団体・連携キャンペーン（別紙参照）

### 2. 活動の方法について

キャンペーンは、準備の段階から現在まで、幅広いセクターの方々からご助言をいただきながら企画を立案した。具体的には、キャンペーン準備期間においては「MDGs達成のための有識者会議」、キャンペーン開始以降は「MDGs カウントダウン・ネットワーク」の会議の場で、企画に対する助言を得ている。

#### （1）キャンペーンの準備（2009年8月～2010年3月）

MDGs2015 キャンペーンの助言を得るため、各セクターから協力者を得て「MDGs達成のための有識者会議」を動く 動かす（GCAP Japan）と協力して開催した。2009年9月～2010年1月

にかけて、合計 4 回の会議を開いた。

< 有識者会議のメンバー >

東 富彦氏 (日本電気株式会社 (NEC) CSR 推進本部 社会貢献室長)

天野晴元氏 (日本生活協同組合連合会 渉外広報本部 国際部 部長)

飯島 信氏 (日本キリスト教協議会 総幹事) 生澤千裕氏 (日本労働組合総連合会 総合国際局 総合局長)

菊地 功氏 (カリタス・ジャパン カリタス・ジャパン責任司教 (委員長))

茂田真澄氏 (仏教 NGO ネットワーク 事務局長) 白土真由美氏 (電通 研究企画室サステナビリティ研究部)

藤井慶太氏 (博報堂 広報室 CSR 部 部長)

村田俊一氏 (国連開発計画 (UNDP) 東京事務所 駐日代表)

## (2) MDGs カウントダウン・ネットワークの運営 (2010 年 4 月 ~)

MDGs2015 キャンペーンの参加 NGO、キャンペーンを応援している国連機関、企業、宗教団体、労組などが連携を促進するための枠組みとして、ゆるやかなネットワークである「MDGs カウントダウン・ネットワーク」を結成した。年に 2 回の会合を予定しており、会議ではキャンペーンの企画や活動内容に関する助言、MDGs 達成に向けた連携のあり方などを議論している。

第 1 回目の会合は、8 月 25 日に開催し、キャンペーン参加 NGO、UNDP、JICA、企業、生協、財団などから 54 名が参加した。キャンペーンの進捗報告の後、グループにわかれ、「MDGs カウントダウン・ネットワークやそれぞれの団体の強みと弱み」「MDGs を広めるにあたっての機会と脅威」「それぞれの組織で何ができるのか」について意見交換を行った。第 2 回会合は 2011 年 2 月頃に行う予定である。

第 1 回会合報告は次の URL を参照。( <http://www.janic.org/more/mdgs/mdgsnews/mdgs.php> )

## 3. キャンペーンの実施内容と経過について

キャンペーンの実施内容と経過については、以下のとおりである。本助成金の期間は 2010 年 8 月 1 日までであるが、キャンペーンの活動は現在も継続しているため、2010 年 9 月下旬現在の実施経過について報告する。なお、本助成金の使用経費については、2010 年 8 月 1 日までに使用した経費を計上した。

### (1) キャンペーンサイトの立ち上げ (2010 年 4 月 ~)

MDGs に関する英語の情報は充実しているものの、最新の情報を、一般市民向けに日本語で分りやすく解説したウェブサイトはほとんどないのが現状である。

そこで本事業では、MDGs に関する情報を一般の方々に分りやすく伝えることを目的に、MDGs2015 キャンペーンサイトを 2010 年 4 月末に立ち上げた。現在、月間約 6000 件のビジット数である。

また、2010 年 8 月末にキャンペーンサイトのリニューアルを行い、現在は以下の内容を掲載している。(詳細は、<http://mdgs2015jp.jp> を参照のこと)

< キャンペーンサイトの主な内容 >

MDGs ってなに？

キャンペーン概要

参加メニュー（MDGs on Twitter、イベントやセミナー、ワークショップ、MDGs2015 まとめて募金、メールマガジン登録など）

応援メッセージ

キャンペーンブログ

ブログパーツで広めよう

キャンペーンブログ

MDGs 情報館 など

## （２）あなたのつばやきが、世界を変える。MDGs on Twitter の普及（2010年4月～）

MDDs を広く日本の市民に知らせ、MDGs 賛同のメッセージを集めることを目的に、キャンペーンサイト内に Twitter を用いたスペシャルサイトを立ち上げた。サイト作成にあたっては、株式会社電通と株式会社博報堂、株式会社葵プロモーション、株式会社 BIRDMAN にプロボノでご協力いただいた。

また、Twitter を使わない方については、メッセージ記入用紙の配布もしている。現在、約 2000 の「つばやき（メッセージ）」が集まっており、ウェブサイト上でアーカイブとして過去のメッセージを見ることができる。（詳しくは <http://www.janic.org/more/mdgs/special/>）

## （３）オープニング・イベントの実施（2010年6月7日）

2010年6月7日午後3時～5時に総評会館にて、キャンペーンのオープニング・イベントを実施した。イベントには70名が参加するほか、インターネット動画の Ustream で生中継を行った。

配信サイト：ソーシャルブリッジ TV <http://social-bridge.tv/live/>

イベントの第1部ではキャンペーンの紹介を行い、Twitter を用いたスペシャルサイトを作成した電通と博報堂の方々にご登壇いただき、メッセージ投稿のデモンストレーションをしていただいた。

第2部では、「MDGs 達成のために日本社会ができること」というテーマでパネルディスカッションを行い、外務省、UNDP、市民（学生）、NGO それぞれの立場から、MDGs 達成に向けてそれぞれどういう役割を果たしていくべきか、また私たちに何ができるのかについて議論を深めた。プログラムは以下のとおり。（詳しくは [http://www.janic.org/news/mdgs\\_70.php](http://www.janic.org/news/mdgs_70.php) を参照のこと）

< プログラム > 15:00 第1部：キャンペーンの紹介

開会の言葉

国連開発計画（UNDP）東京事務所 駐日代表 村田俊一氏 ご挨拶

JANIC から世界の「貧しい」を半分に。MDGs2015 キャンペーンの概要説明

MDGs 宣言の Twitter を用いた投稿のデモンストレーション

発表者：（株）電通 大岩直人氏 （株）博報堂 須田和博氏

質疑応答

16:10 第2部：パネルディスカッション：MDGs 達成のために日本社会ができること  
各パネリストからの発表（MDGs 達成のために各セクターが果たす役割）

パネリスト：国連開発計画（UNDP）東京事務所 駐日代表 村田 俊一氏

（特活）ACE 代表 岩附由香氏

外務省 国際協力局長 佐渡島 志郎氏

学生団体 adoir 代表 岡本 俊太郎氏

ファシリテーター：JANIC 理事長 大橋 正明

パネルディスカッション

#### （4）MDGs ワークショップの開発と実施（第1回目の実施は2010年7月30日）

JANIC では、ボランティアの協力を得て、MDGs を学ぶワークショップを開発した。ワークショップは、MDGs の各目標にそって合計5つある。各ワークショップは、1時間半～2時間程度の内容で、講師による MDGs や貧困・環境問題に関する解説と、参加者が参加型で学べるワークとに分かれている。MDGs の目標1～7は、途上国において達成されるべき目標であり、MDGs の目標8は、目標1～7達成のために先進国が責任を持って推進すべき目標である。そこで目標1～7の理解促進のためには、途上国の現状がわかるストーリーを交えて学べるようなワークを取り入れた。ストーリーは、JANIC 正会員 NGO の5団体に提供や紹介をお願いした。一方で、目標8については、「先進国にいる私たちができること」を考えるという要素のワークを、各ワークショップで含めるようにした。

また、各ワークショップの詳細については、本助成金で発行した冊子「MDGs ってなに？～世界のために私たちができること～MDGs ワークショップ実施マニュアル」を参照のこと。（以下からダウンロード可能 [http://www.janic.org/news/mdgs2015\\_2.php](http://www.janic.org/news/mdgs2015_2.php)）

なお、ワークショップの開発とワークショップ実施マニュアルの作成は、三菱UFJ国際財団の助成（2009年7月～2010年6月）の支援で行った。

第1回目のワークショップは、2010年7月30日に行い、Story1の「ブルキナファソで暮らすナナさん一家の1日」のワークを行った。参加者の多くは学生や若手社会人だったが、企業のCSR担当者、NGO関係者など合計25名が参加した。今後もJANICではキャンペーンの一環としてワークショップを実施する予定である。

各ワークショップの概要は以下のとおり。

##### <5つのワークショップの内容>

ワークショップ1「ブルキナファソのある家族の1日」

目的：MDGs 目標1「極度の貧困と飢餓の撲滅」を学ぶこと（ブルキナファソの事例）

ストーリー提供団体：（特活）ハンガー・フリー・ワールド

ワークショップ2「ネパールの少女、サンギタの夢」

目的：MDGs 目標2「普遍的初等教育の達成」、目標3「ジェンダーの平等推進と女性の地位向上」を学ぶこと

ストーリー提供団体：（特活）チャイルド・ファンド・ジャパン

#### ワークショップ 3「少年ルイスの物語」

目的：MDGs 目標 4「乳幼児死亡率の削減」について学ぶこと

ストーリー作成：デビッド・ワーナー著『Helping Health Workers Learn』（ストーリーは JANIC で抜粋し、翻訳した）

協力団体：（特活）シェア = 国際保健協力市民の会

#### ワークショップ 4「ウガンダのある先生とエイズ孤児の物語」

目的：MDGs 目標 5「妊産婦の健康の改善」、目標 6「HIV/エイズ、マラリア、その他の疾病の蔓延の防止」について学ぶこと

ストーリー提供団体：（特活）エイズ孤児支援 NGO・PLAS

#### ワークショップ 5「これがラオスの森、ラオスの暮らし」

目的：MDGs 目標 7「環境の持続可能性の確保」を学ぶこと

ストーリー提供団体：（特活）日本国際ボランティアセンター

### （5）世界の「貧しい」を半分に。MDGs 2015 まとめて募金

JANIC で既に実施している「NGO サポート募金」の一環として、MDGs 達成のために活動している NGO に募金を配分する「MDGs 2015 まとめて募金」を新たに設置した。2010 年 9 月現在、39 団体に募金を均等配分している。2010 年 4 月～8 月にかけて、約 57,000 円の募金が集まった。

### （6）メールマガジンの発行

MDGs に関する最新情報を市民の皆さんに届けることを目的に、2010 年 5 月からほぼ月間のペースで、メールマガジンを発行している。登録者数は 255 名で、これまで合計 5 回発行した。詳細は以下のウェブを参照のこと。

（[http://www.janic.org/more/mdgs/join/mailmagazine/post\\_230.php](http://www.janic.org/more/mdgs/join/mailmagazine/post_230.php)）

### （7）国連 MDGs レビューサミットの参加と特別イベントの実施（2010 年 9 月 22 日）

2010 年 9 月 20 日～22 日に、MDGs の進捗状況を振り返り、今後 5 年間の道筋を議論する国連 MDGs レビューサミットがニューヨークの国連本部で開催され、各国首脳が参加した。JANIC は、理事長の大橋正明が日本政府代表団として参加して提言活動を行うとともに、国連本部のサイドイベント等に参加した。またスタッフの佐藤も出張し、国連の外で行われている NGO のサイドイベント等に参加し、現地の様子を Twitter やブログ等で報告した。

さらに、9 月 22 日（水）13 時 30 分～16 時 30 分には、特別イベント「世界の貧困は減らすことができたのか？」を東京の電通ホールにて実施し、約 250 名の市民、NGO、企業、労働組合、政府関係者、メディア関係者等が参加した。イベントでは、ニューヨークに出張している大橋と佐藤と電話回線をつなぎ、写真を交えて現地の様子を報告するとともに、リソースパーソンを招いて MDGs の進捗状況の報告、MDGs の取り組み事例レポートなどを行った。さらに、サッカー日本代表 岡田武史前監督から応援ビデオメッセージをいただき、当日上映するとともに、岡田氏の掛け声とともに、スタンドアップ・テイクアクションを行った。（スタンドアップ・テイクア

クシヨンは以下を参照のこと。( <http://www.standup2015.jp/> )

本イベントには、株式会社電通、株式会社博報堂が協力し、日本労働組合総連合会(連合)が後援した。詳細は以下のサイトを参照。( [http://www.janic.org/more/mdgs/mdgsnews/mdgs\\_7.php](http://www.janic.org/more/mdgs/mdgsnews/mdgs_7.php) )  
プログラムは以下のとおり。

## 【プログラム】

### <PART 1 MDGsを知る>

13:45~ トーク:世界の貧困とMDGs 池田香代子さん(作家・翻訳家)

### <PART 2 MDGsの進捗>

14:05~ 基調講演:MDGsの達成状況と課題 村田俊一さん(UNDP駐日代表)  
レビューサミット報告 from ニューヨーク  
大橋正明(JANIC理事長)・佐藤祐美子(JANIC)

### <PART 3 MDGs取組みレポート>

15:00~ 取組み報告

途上国の貧困状況の事例紹介の後、貧困削減に向けた、企業、NGO、市民の取組みを報告。

〔途上国〕ギルバート・ホグガンさん(アジア学院職員、前フィリピン少数民族全国連合会代表、獣医師)

〔企業〕金田晃一さん(武田薬品工業株式会社コーポレート・コミュニケーション部シニアマネジャー)

〔NGO〕稲場雅紀さん(動く→動かす 事務局長)

〔市民〕小堀優井さん(JANICユース 代表)

コメント:山田彰さん(外務省国際協力局 地球規模課題審議官組織参事官)

応援ビデオメッセージ:サッカー日本代表 岡田武史前監督

世界の「貧しい」を半分に。MDGs2015 キャンペーンご案内

スタンド・アップ

閉会

## (8)地球のごはんの日

「地球のごはんの日」は、MDGsの目標1「貧困と飢餓をなくそう」の理解を深める活動を行う企画である。食事を通じて、世界の貧困問題と日本人の食生活のつながりを伝えることにより、MDGsの理解促進を行うことが目的である。

2010年10月から「地球のごはんの日」の普及啓発活動を行う予定であり、2010年6月からこれまでパンフレットの作成等、準備を行ってきた。10月3日(日)のグローバルフェスタのメインステージでのイベント「地球のごはんの日~世界を幸せにするおいしいごはんの食べ方~」の実施を皮切りに、年間4回程度のイベントやセミナー等を開催する予定である。

パンフレットは1万部作成し、キャンペーン参加NGOや、キャンペーンを応援している団体を通じて、広く市民に配布する予定である。

パンフレットは同封の資料を作成のこと。

### (9) その他ツールの作成

MDGs2015 キャンペーンのパフレット、ポスター、バッジ、イベント出展用のパネルをそれぞれ作成した。(同封資料を参照のこと)

## 3. 活動の成果

### < 成果 1 >

キャンペーンの実施の基礎となるツールであるウェブサイト、Twitter を通じたスペシャルサイト、パンフレット、チラシ、ワークショップマニュアル等を作成するとともに、市民向け公開イベントやワークショップを開催し、MDGs について普及啓発することができた。

### < 具体的な達成数値 >

ウェブサイト訪問者数：月間約 6000 件

Twitter を通じたメッセージの収集：約 2000 件

オープニングイベントの参加人数：約 70 名

第 1 回ワークショップ参加者数：約 25 名

MDGs レビューサミット特別イベント参加者数：約 250 名

メールマガジン登録者：255 名 (5 回発行)

メディア掲載件数：20 件 (別紙参照)

### < 成果 2 >

MDGs 達成に向けて活動している NGO (JANIC 正会員)、国連機関 (UNDP、国連ミレニアムキャンペーン)、政府機関 (外務省、JICA)、労働組合 (連合)、生協、企業、宗教団体、財団など他セクターと協力して MDGs を広めていく基盤を築いた。また、動く 動かすの「Stand Up Take Action」、世界宗教者会議 (WCRP) の「Arms Down!」、世界食料デー月間 2010 と連携して MDGs を広めていくことができた。

### < 具体的な達成数値 >

参加 NGO：42 団体

後援団体：9 団体

協賛企業：10 社

協力団体：10 団体

助成団体：7 団体

連携キャンペーン：3 団体

\* 団体名は別紙参照のこと。また以下のウェブサイトにも掲載

参加 NGO：<http://www.janic.org/more/mdgs/about/ngomembers/>

後援、協賛、協力、助成、連携キャンペーン：<http://www.janic.org/more/mdgs/about/supporters/>

#### 4．活動の課題

##### (1) キャンペーンの開始時期

キャンペーンの準備に時間がかかり、2010年1月からキャンペーンをスタートする計画だったが、結果として2010年4月からのスタートになった。

##### (2) キャンペーンの企画内容と市民への働きかけ

- ・キャンペーンの開始が遅れた主な理由は、有識者会議の助言を受け、キャンペーンの企画内容を大幅に見直したためである。当初の企画内容のうち、これまで実施していないのは「開発教育データベースの作成（JANIC 正会員団体が実施する開発教育のアピールを行うことが目的）」と、日本の国内の貧困問題のアピールである。
- ・市民への働きかけが限定的であり、キャンペーンの広がりには欠ける。本事業申請時には、2010年12月までに約30万人のMDGsの賛同を集めたいと考えていたが、目標達成には遠く及んでいない。（Twitterを通じたMDGs 賛同メッセージは現在2000件しか集まっていない）その主な理由は、第1にMDGsを知っている層が日本社会には少ない中で、MDGsの賛同メッセージを集めるという活動は敷居が高いためである。第2に他セクターとの連携は構築したものの、ネットワークを通じた市民への働きかけの努力はまだ不十分であるためである。第3に、河口恭吾さんなど著名人やメディアの協力を得てキャンペーンのアピールをしているものの、市民に認知を広めるだけのアピールがまだ不十分であるためと考える。第4に、主にTwitterを通じてメッセージを集めているが、Twitterを使用している層と、キャンペーンを応援している団体を通じて働きかけている層（企業、労働組合、宗教団体、生協の構成員など）が異なり、ターゲティングに課題があったためと考えている。

#### 5．今後の展望

キャンペーン終了時である2012年3月まで、引き続き現在のキャンペーンの活動を継続する。また、2012年3月には2年間のキャンペーン活動を振り返って評価を行ったうえで、2015年までの継続を検討する。具体的な展望は以下のとおり。

##### (1) MDGsについて深く学ぶ機会を提供する

引き続き、MDGsに関するシンポジウム、イベント、セミナー、ワークショップ等の開催、講師派遣の実施、キャンペーン参加NGOのイベント紹介等を通じて、MDGsについて深く学びたい市民や各セクターに参加の機会を提供する。（延べ1000名以上の参加が目標）

##### (2) 他セクターと連携し、MDGsを広く普及・啓発する

- ・キャンペーンを応援している他セクターとのネットワークや、著名人・メディアとの協力を通じて、市民に対してMDGsを広く知らせていく。（メディア掲載件数20件以上が目標）JANICのMDGs2015キャンペーンの参加メニューを知らせると共に、MDGs達成に向けて活動しているNGO、及び他セクター（企業、労働組合、宗教団体、生協等）の活動をウェブサイト、メールマガジン、Twitter等を通じてアピールする。
- ・Twitterを通じたMDGs 賛同メッセージ収集については賛同者数が伸び悩んでいるため、企業等との連携による「つぶやき募金」や著名人とのタイアップ企画等を検討し、キャンペーン終



了時の 2012 年 3 月までに、合計 5 万件以上の賛同を集めることを目標とする。

## 6．実施スケジュールと今後のスケジュール案

### ( 1 ) これまでの活動スケジュール

#### < キャンペーンの準備 >

2009 年 9 月 8 日 第 1 回有識者会議の開催 ( キャンペーンの企画案の提案と意見交換 )

2009 年 10 月 8 日 第 2 回有識者会議の開催

( 有識者の所属団体における MDGs の取り組みを紹介し意見交換 )

2009 年 12 月 18 日 第 3 回有識者会議の開催

( キャンペーンを各セクターにどのように広めていくか意見交換 )

2010 年 1 月 25 日 第 4 回有識者会議の開催 ( キャンペーンの企画の再提案と総括 )

#### < キャンペーンの開始 ~ 現在まで >

2010 年 4 月 1 日 世界の「貧しい」を半分に。MDGs 2015 まとめて募金の開始

2010 年 4 月 30 日 キャンペーンサイトの立ち上げ

2010 年 6 月 2 日 オープニング・パーティの実施 ( 関係者のみ )

2010 年 6 月 7 日 公開オープニング・イベントの実施

2010 年 7 月 30 日 第 1 回 MDGs ワークショップの実施

2010 年 8 月 25 日 第 1 回 MDGs カウントダウン・ネットワーク会議の開催

2010 年 8 月 30 日 MDGs キャンペーンサイトのリニューアル

2010 年 9 月 22 日 MDGs レビューサミット特別イベントの開催

### ( 2 ) 今後のスケジュール案

2010 年 10 月 イベント出展 ( グローバルフェスタ )

「地球のごはんの日」イベント開催とパンフレットの配布

2010 年 11 月 ~ 第 1 回 MDGs 連続ワークショップの開始 ( 全 5 回、2 ヶ月に 1 回程度 )

2010 年 12 月 ~ 2 月 「地球のごはんの日」第 1 回・第 2 回セミナーの開催

2011 年 3 月 第 2 回 MDGs カウントダウン・ネットワーク会議の開催

キャンペーンの 1 年の活動の振り返りと来年度の計画の策定

2011 年 4 月 イベント出展 ( メーカー )、協力団体や学生団体にイベント出展の際の協力依頼

2011 年 5 月 MDGs チャリティ・ウォーク・イベントの実施

2011 年 6 ~ 8 月 MDGs 関連資料 ( ウェブサイト等 ) のアップデート

第 3 回 MDGs カウントダウン・ネットワーク会議の開催

2011 年 9 月 公開シンポジウム「MDGs 達成まであと 4 年：私たちにできること」( 仮 ) 開催

2011 年 10 月 イベント出展 ( グローバルフェスタ )

「地球のごはんの日」イベントの開催

2011 年 11 月 ~ 第 2 回 MDGs 連続ワークショップの開始 ( 全 5 回、1 ヶ月に 1 回程度 )

2012 年 1 月 第 4 回 MDGs カウントダウン・ネットワーク会議の開催

2012 年 3 月 キャンペーンの 2 年間の振り返りと今後の活動計画の策定

以上